

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.14

幕張サン・ハイツ自主防災会 2019.4

防災クイズ 地震編（初級）

日頃より正しい防災知識を知ることが大切なことです。クイズ形式にしてみました。
○か × でお答えください。回答と解説は裏面をご覧ください。

Q.01

テレビで「緊急地震速報」が！
家にいると危険なのでゆれの発生と同時に外に出ました。

Q.02

避難する時の服装は、動きやすいようになると身軽な薄着にする。

Q.03

NTT の災害用伝言ダイヤルの番号は 171 である。

Q.04

大地震により通勤先などからの帰宅が困難になった場合、自宅までの距離が遠いなどの帰宅が困難な場合は混乱を避け、翌日以降に帰宅できるよう、食料や飲料水を備蓄するなど職場に泊まれる準備をした。

Q.05

大人 1 人に必要な飲料水は 1 日 3 リットルです。

Q.06

避難グッズを入れた「非常用持出し袋」は、急いで食料を入れられるように台所においておく。

Q.07

家族がはなればなれのとき大きな地震がおきました。携帯電話で連絡すればよい。

Q.08

避難場所や災害に関する情報は、防災行政無線で確認するのがいちばんよい。

Q.09

防災の日は 9 月 1 日です。

Q.10

南海トラフなど巨大地震に備えて最低一週間分の非常食を用意するのが良い。

幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No.14

幕張サン・ハイツ自主防災会 2019.4

Q.01 ×

震度 6ー7 クラスでは、全く何もできません。下手に動いてケガをしないように、机の下などに身を隠して、揺れの収まるまで待ちましょう。家族を置いて自分だけ飛び出すのはやめましょう。

Q.02 ×

避難するときの服装は、ケガから守るため夏でも長袖や長ズボンを着て肌を出さないようにしましょう。頭はヘルメットや防災ズキンなどで保護しましょう。

Q.03 ○

災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

Q.04 ○

自宅までの距離が遠いなど徒歩での帰宅が困難な場合は、混乱を避け、翌日以降に帰宅できるよう、食料や飲料水を備蓄するなど職場に泊まれる準備をしておきましょう。

Q.05 ○

大人 1 人に必要な飲料水は 1 日 3 リットルです。

Q.06 ×

すぐに取り出せるように玄関とか家の出入り口に近い場所に置いておく。また車のトランクや外の物置など様々な場所に置けば自宅が被害を受けて取り出せなくても安心です。

Q.07 ×

災害時、携帯は通じないことがあります。ふだんから家族で災害が発生したときの集合場所を決めておく。家にいるとき、会社・学校にいる場合など、場面ごとに決めておくといでしょう。

Q.08 ×

防災行政無線は、場所によっては聞きづらいこともあります。テレビ、ラジオ、インターネット、メール、等で情報を入手できるように準備しておきましょう。

Q.09 ○

10 万人を超える 死者・行方不明者を出した関東大震災(大正 12 年 9 月 1 日)に因み、昭和 35 年にさだめられました。毎年 9 月 1 日を中心として「防災思想の普及、防災訓練等これにふさわしい行事」が実施されています。

Q.10 ○

広域に被害が予想される南海トラフ巨大地震などに備えると、一週間以上の確保が望ましいです。家族の人数に合わせて必要な量を準備しておきましょう